



2022年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月12日

上場会社名 株式会社 ナカニシ
コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 0289-64-3380

四半期報告書提出予定日 2022年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	11,981	5.7	3,886	5.7	4,374	6.3	3,142	2.2
2021年12月期第1四半期	11,337	55.4	3,675	231.3	4,113	641.2	3,074	595.3

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 4,156百万円 (10.4%) 2021年12月期第1四半期 3,764百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	36.50	36.41
2021年12月期第1四半期	35.48	35.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	95,593	84,853	88.5
2021年12月期	94,460	82,919	87.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 84,615百万円 2021年12月期 82,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		17.00		20.00	37.00
2022年12月期					
2022年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当2円00銭

2021年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 特別配当2円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,026	0.1	6,546	14.4	7,095	4.4	5,062	5.7	58.75
通期	45,788	2.1	12,606	8.3	13,587	2.6	9,621	4.8	111.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年5月12日)公表いたしました「2022年12月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	94,259,400 株	2021年12月期	94,259,400 株
期末自己株式数	2022年12月期1Q	8,336,032 株	2021年12月期	8,094,386 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	86,098,948 株	2021年12月期1Q	86,656,741 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍後の急速な景気回復に伴う需要の増加による物価の上昇や、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー供給の不安などにより、将来の不確実性は増しております。

一方、国内においては、原材料価格の上昇や部品の調達難等により、回復は鈍化しております。

このような事業環境の中、3つの事業全て増収となり、また、営業利益も増益となりました。

以上より、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,981,938千円（前年同期比5.7%増）、営業利益は、3,886,343千円（前年同期比5.7%増）、経常利益は、4,374,157千円（前年同期比6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,142,622千円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(歯科製品関連事業)

歯科製品関連事業の売上高については、国内において、前年同期の歯科医院への政府の感染防止対策給付金の交付の影響による需要の増加による反動により減収となりましたが、欧州、北米及びアジアにおいて増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面については、前年同期並みとなりました。

この結果、売上高は、10,095,404千円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は、4,097,557千円（前年同期比0.7%減）となりました。

(工業製品関連事業)

工業製品関連事業の売上高については、国内、北米、欧州、及びアジアの全ての地域で増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、1,092,854千円（前年同期比28.9%増）、セグメント利益は、375,331千円（前年同期比25.5%増）となりました。

(サージカル製品関連事業)

サージカル製品関連事業の売上高については、ヨーロッパ及びアジアで減収となりましたが、国内及び北米で増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、793,679千円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は、409,453千円（前年同期比27.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は、95,593,174千円で、前連結会計年度末に比べ1,132,254千円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が776,951千円並びに建設仮勘定が722,340千円増加したこと等によるものです。

負債の残高は、10,740,060千円で、前連結会計年度末に比べ801,385千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等が1,171,937千円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は、84,853,113千円で、前連結会計年度末に比べ1,933,640千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が1,419,322千円及び為替換算調整勘定が1,343,401千円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の業績予想については、2022年2月9日に公表した第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

第2四半期累計期間

	金額	対前期増減率 (%)
売上高	23,026百万円	0.1
営業利益	6,546百万円	△14.4
経常利益	7,095百万円	△4.4
親会社株主に帰属する当期純利益	5,062百万円	△5.7

通期

	金額	対前期増減率 (%)
売上高	45,788百万円	2.1
営業利益	12,606百万円	△8.3
経常利益	13,587百万円	△2.6
親会社株主に帰属する当期純利益	9,621百万円	△4.8

詳細につきましては、本日（2022年5月12日）公表いたしました「2022年12月期第2四半期業績予想及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,984,340	34,094,934
受取手形及び売掛金	5,348,771	6,125,723
有価証券	1,422,099	1,327,874
金銭の信託	4,341,163	4,356,398
商品及び製品	5,822,666	6,275,909
仕掛品	3,286,853	3,361,370
原材料及び貯蔵品	2,623,642	3,147,551
その他	1,382,650	1,611,367
貸倒引当金	△60,452	△76,559
流動資産合計	60,151,734	60,224,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,431,241	15,455,880
機械装置及び運搬具	7,486,174	7,637,032
工具、器具及び備品	5,205,578	5,292,314
土地	2,033,155	2,071,886
建設仮勘定	962,539	1,684,879
減価償却累計額	△15,825,871	△16,194,322
有形固定資産合計	15,292,817	15,947,671
無形固定資産		
ソフトウェア	377,341	352,428
ソフトウェア仮勘定	320,598	632,538
のれん	108,442	98,536
その他	538,570	524,484
無形固定資産合計	1,344,953	1,607,988
投資その他の資産		
投資有価証券	8,692,157	8,269,533
関係会社株式	4,866,102	5,118,896
保険積立金	2,122,292	2,130,837
繰延税金資産	940,349	1,207,062
その他	1,051,965	1,088,111
貸倒引当金	△1,452	△1,497
投資その他の資産合計	17,671,414	17,812,944
固定資産合計	34,309,185	35,368,604
資産合計	94,460,919	95,593,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,009,312	1,612,544
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	2,529,830	1,357,893
賞与引当金	909,596	966,641
その他	6,045,854	5,650,871
流動負債合計	10,594,594	9,687,950
固定負債		
退職給付に係る負債	342,260	344,702
繰延税金負債	412,271	523,481
その他	192,319	183,925
固定負債合計	946,851	1,052,109
負債合計	11,541,446	10,740,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,180,482	1,180,482
利益剰余金	84,765,333	86,184,656
自己株式	△6,793,803	△7,293,785
株主資本合計	80,019,961	80,939,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,843,974	1,513,420
為替換算調整勘定	819,197	2,162,599
その他の包括利益累計額合計	2,663,172	3,676,020
新株予約権	232,552	232,552
非支配株主持分	3,786	5,238
純資産合計	82,919,473	84,853,113
負債純資産合計	94,460,919	95,593,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	11,337,537	11,981,938
売上原価	4,608,552	4,634,051
売上総利益	6,728,984	7,347,886
販売費及び一般管理費	3,053,029	3,461,543
営業利益	3,675,954	3,886,343
営業外収益		
受取利息	17,341	17,734
受取配当金	2	3
金銭の信託運用益	123,012	—
補助金収入	32,133	35,927
持分法による投資利益	56,399	25,752
為替差益	187,398	447,068
雑収入	25,072	60,943
営業外収益合計	441,360	587,428
営業外費用		
支払利息	962	288
金銭の信託運用損	—	83,782
支払手数料	—	2,535
雑損失	2,638	13,007
営業外費用合計	3,601	99,614
経常利益	4,113,714	4,374,157
特別利益		
固定資産売却益	—	64,320
投資有価証券売却益	17,087	—
特別利益合計	17,087	64,320
特別損失		
固定資産売却損	—	31,069
固定資産除却損	183	951
特別損失合計	183	32,020
税金等調整前四半期純利益	4,130,617	4,406,457
法人税、住民税及び事業税	1,202,322	1,284,509
法人税等調整額	△146,776	△21,105
法人税等合計	1,055,546	1,263,404
四半期純利益	3,075,071	3,143,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	258	430
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,074,812	3,142,622

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	3,075,071	3,143,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,682	△330,553
為替換算調整勘定	629,947	1,344,422
その他の包括利益合計	689,629	1,013,868
四半期包括利益	3,764,701	4,156,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,764,499	4,155,470
非支配株主に係る四半期包括利益	201	1,451

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

これにより、販売奨励金等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によりおりましたが、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、第1四半期連結累計期間の売上高は24,797千円減少し、販売費及び一般管理費は24,797千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に対する影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	サージカル 製品関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,809,333	847,629	680,573	11,337,537	—	11,337,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,809,333	847,629	680,573	11,337,537	—	11,337,537
セグメント利益	4,127,351	299,177	321,557	4,748,085	△1,072,131	3,675,954

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	サージカル 製品関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,095,404	1,092,854	793,679	11,981,938	—	11,981,938
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,095,404	1,092,854	793,679	11,981,938	—	11,981,938
セグメント利益	4,097,557	375,331	409,453	4,882,342	△995,999	3,886,343

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「歯科製品関連事業」に含まれていた「サージカル製品関連事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、従来「その他事業」としていた修理事業を、「歯科製品関連事業」、「工業製品関連事業」及び「サージカル製品関連事業」のそれぞれの該当する事業に含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しています。当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「歯科製品関連事業」の売上高が24,797千円減少しています。なお、セグメント利益に与える影響はありません。